

# VP-D500/VP-D1300

## 取扱説明書

### セットアップと使い方の概要編

- プリンターを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。
- 本書では VP-D1300 のイラストを使用して説明しています。VP-D500 は VP-D1300 と若干形状が異なりますが、VP-D500 でも操作は同じです。

#### ご使用の前に

4

安全上のご注意や各部の名称など、知っておいていただきたい事項を説明しています。

#### プリンターのセットアップ

16

部品の取り付けからプリンタードライバーのインストールまでの作業を説明しています。

#### 給紙と排紙

28

給紙方法、連続紙や単票紙の仕様などを説明しています。

#### リボンカートリッジの交換

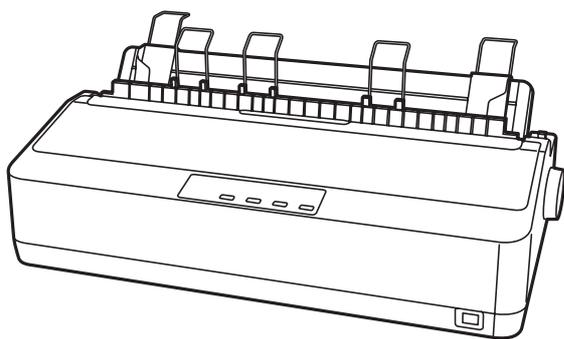
37

消耗品であるリボンカートリッジの交換手順を説明しています。

#### さらに詳しい情報とサービスのご案内

40

CD-ROM 収録の「取扱説明書 詳細編」(PDF マニュアル) の見方や、サービス・サポートのご案内をしています。



\*413232500\*

## マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンター本体が損傷したり、プリンター本体、プリンタードライバーやユーティリティーが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

**参考** 補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

## Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® 8 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® 8.1 Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7/8/8.1」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

## 給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法とプリンタードライバー上の表記は以下ようになります。

給紙方法	プリンタードライバーの表記
単票紙を「用紙ガイド」から手差し給紙する	手差し
連続紙をプッシュトラクターから給紙する	トラクター

## 商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不恰当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

# もくじ

ご使用の前に .....	4
安全上のご注意 ...	4
各部の名称と役割 ...	11
プリンターのセットアップ .....	16
セットアップの流れ ...	16
1. 同梱物の確認 ...	18
2. 保護材の取り外し (VP-D1300 のみ) ...	18
3. 部品の取り付け ...	19
4. 電源接続 ...	20
5. コンピューターとの接続 ...	21
6. リボンカートリッジの取り付け ...	22
7. 動作確認 ...	24
8. プリンタードライバーと監視ユーティリティのインストール ...	26
給紙と排紙 .....	28
給紙経路と用紙 ...	28
連続紙の給紙と排紙 ...	30
単票紙の給紙と排紙 ...	33
連続紙と単票紙の切り替え ...	34
用紙が詰まったときは ...	36
リボンカートリッジの交換 .....	37
さらに詳しい情報とサービスのご案内 .....	40
PDF マニュアルの紹介と使い方 ...	40
各種サービス・サポートのご案内 ...	42
エプソンサービスパック ...	42
保守サービスのご案内 ...	43

# ご使用前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

## 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品のマニュアルをお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品のマニュアルでは、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
 してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	 電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
 分解禁止を示しています。	 濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
 製品が水に濡れることの禁止を示しています。	 必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
 アース接続して使用することを示しています。	 特定の場所に触れることの禁止を示しています。

## 設置に関するご注意

### ⚠警告



**本製品の通風口を塞がないでください。**  
通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。  
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

### ⚠注意



**油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど  
湿気の多い場所に置かないでください。**  
感電・火災のおそれがあります。



**本製品の組み立て作業（開梱、セットアップなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。**  
滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。



**本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。**  
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。



**不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。**  
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（10～32℃）と湿度（15～85%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

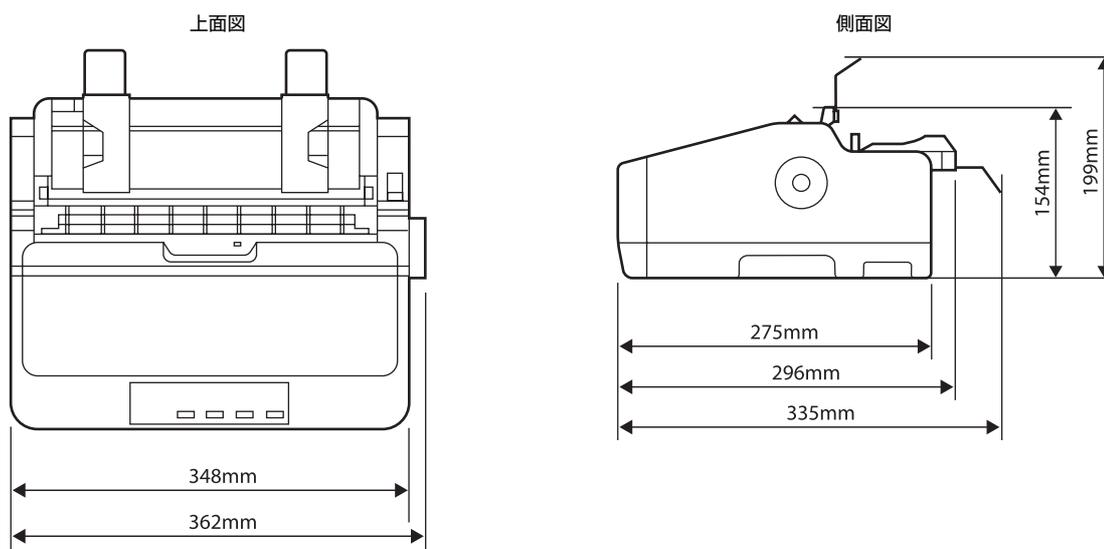
### ⚠注意

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

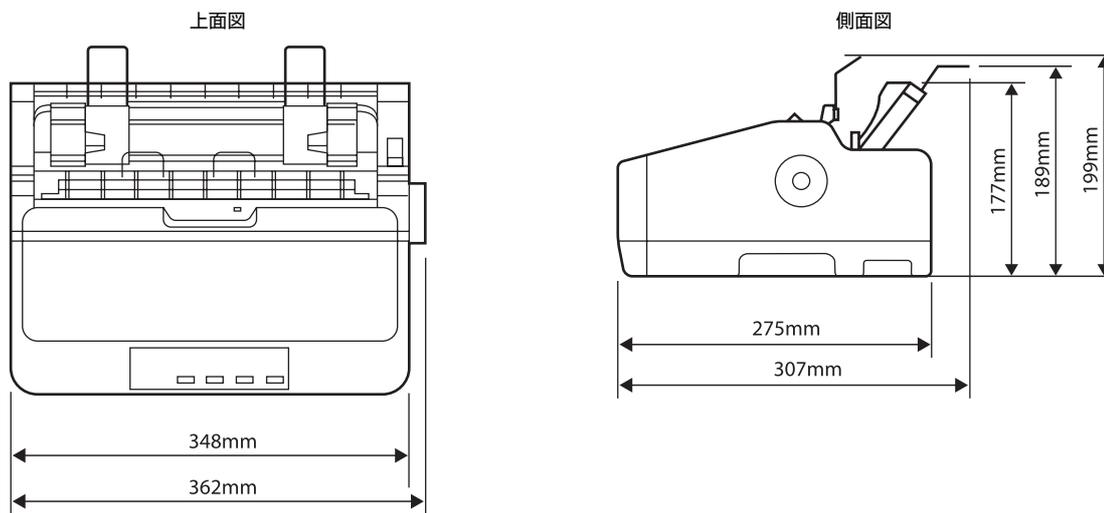
- 本製品を「プリンター底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンター底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンター本体より広く平らな面の上にプリンターを設置してください。
- 本製品をプリンター台に設置する場合は、本体重量（VP-D500：約 4.1kg、VP-D1300：約 6.1kg）に耐えられるプリンター台に設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

**VP-D500：**

連続紙使用時

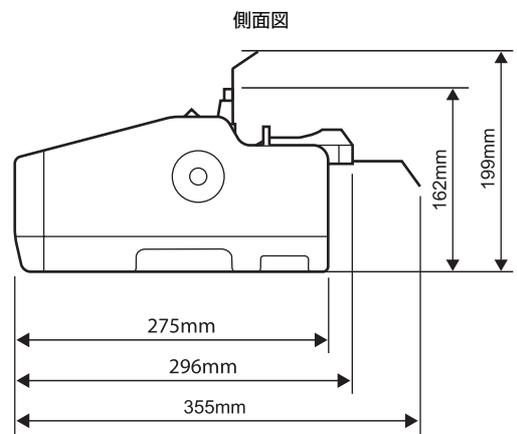
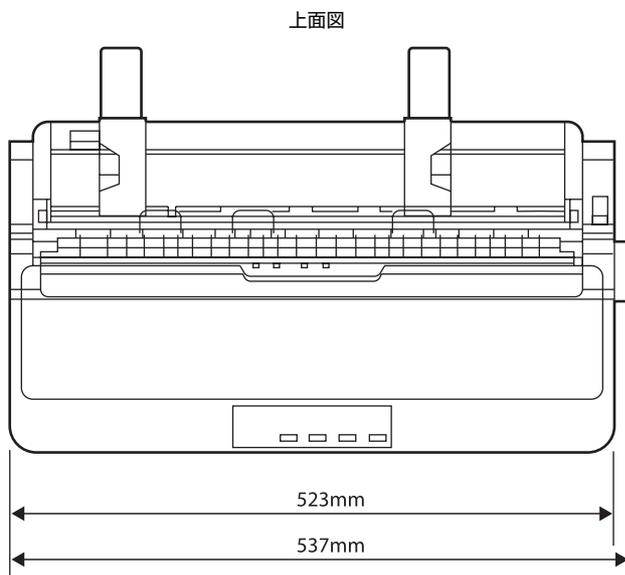


単票紙使用時

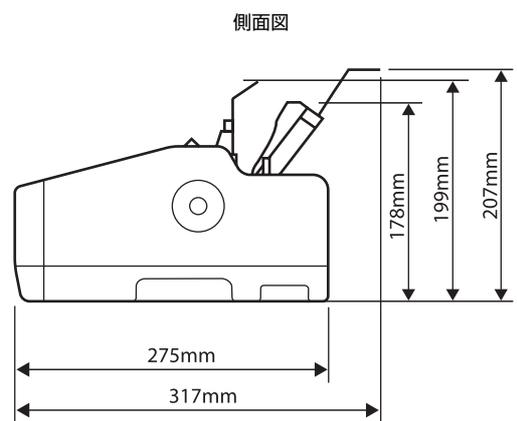
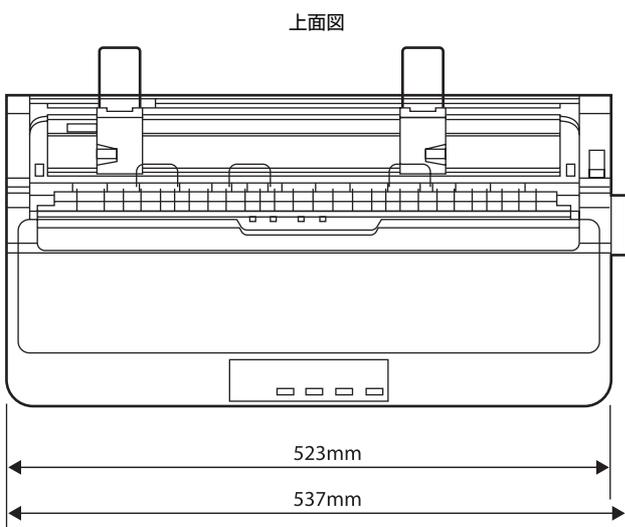


VP-D1300 :

連続紙使用時



単票紙使用時



## 電源に関するご注意

⚠ 警告	
 <p><b>AC100V以外の電源は使用しないでください。</b> 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p><b>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。</b> 感電のおそれがあります。</p>
 <p><b>破損した電源コードを使用しないでください。</b> 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談してください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードを加工しない</li> <li>● 電源コードに重いものを載せない</li> <li>● 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない</li> <li>● 熱器具の近くに配線しない</li> </ul>	 <p><b>漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。</b> アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。 電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コンセントのアース端子</li> <li>● 銅片などを65cm以上地中に埋めた物</li> <li>● 接地工事（D種）を行っている接地端子</li> </ul> <p>アース線の取り付け／取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店に相談してください。</p>
 <p><b>電源コードのたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。</b> 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。</p>	 <p><b>次のような場所にアース線を接続しないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガス管（引火や爆発の危険があります）</li> <li>● 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）</li> <li>● 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）</li> </ul>
 <p><b>電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。</b> 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p><b>電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。</b> 感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p><b>電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。</b> 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。</p>	 <p><b>本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。</b> 感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p><b>電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。</b> コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p><b>付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。</b> 感電・火災のおそれがあります。</p>

## ⚠ 注意



長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 取り扱い上のご注意

### ⚠警告

 <p>煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。</p>	 <p>マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。</p>
 <p>開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。</p>
 <p>可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。</p>	 <p>アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p>お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p>	 <p>製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。</p>
 <p>各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。</p>	

### ⚠注意

 <p>本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。 特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。</p>	 <p>使用中または使用直後にプリンターカバーを開けたときは、プリントヘッド部分に触れないでください。 高温になっているため、火傷のおそれがあります。</p>
 <p>各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。</p>	 <p>本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p>電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近づけないでください。 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。</p>	 <p>リボンカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。</p>

### ⚠注意



印刷用紙の端を手でこすらないでください。  
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。



インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。

さらに以下の点も注意してください。

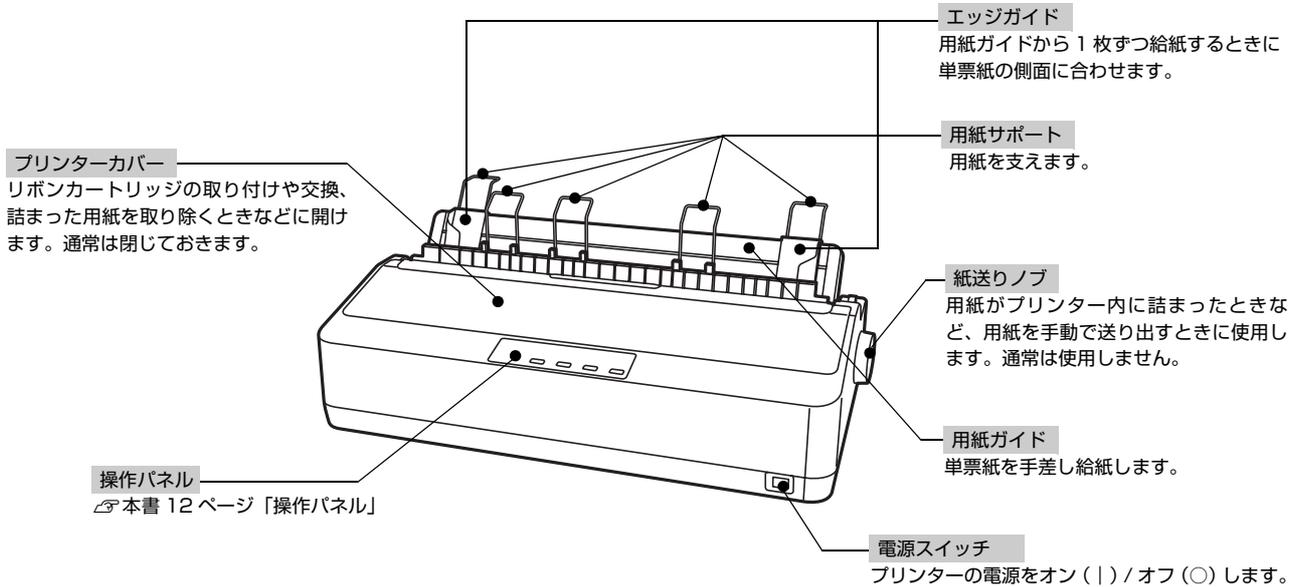
- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンターカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

### 本製品の不具合に起因する付随的損害について

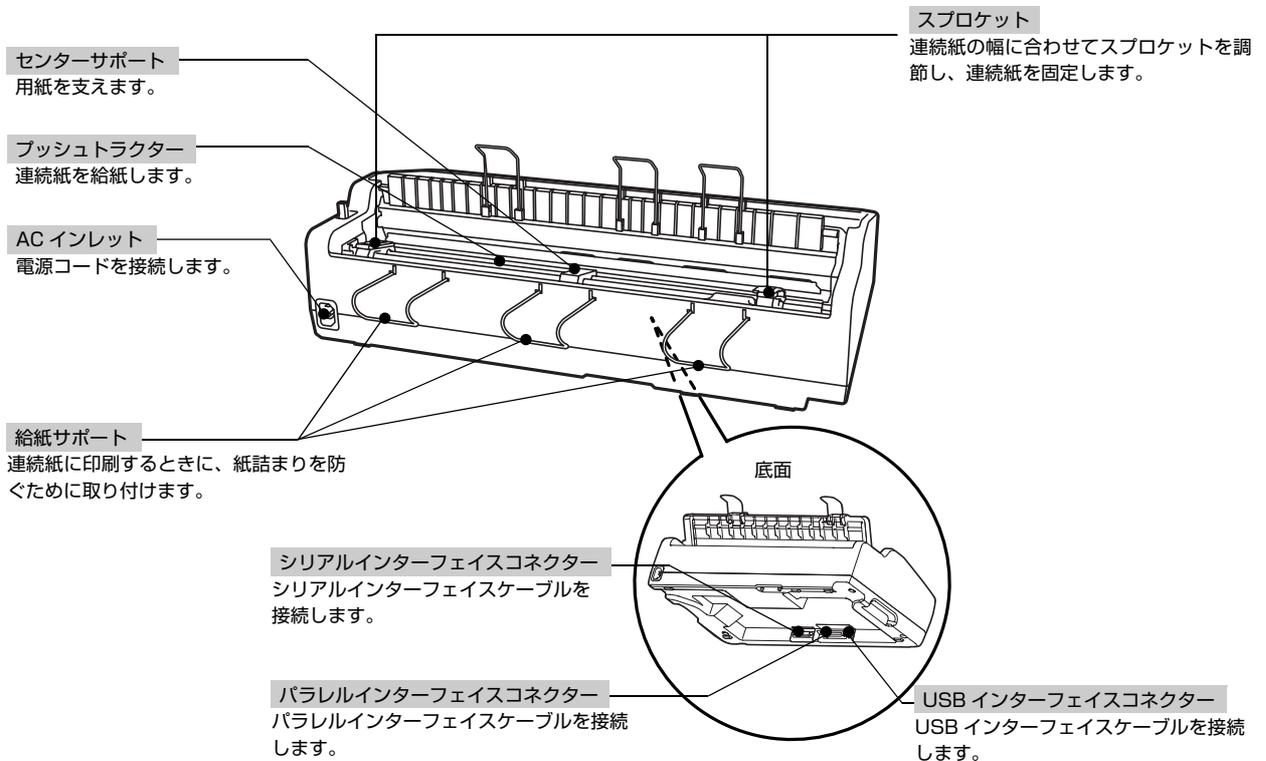
万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

## 各部の名称と役割

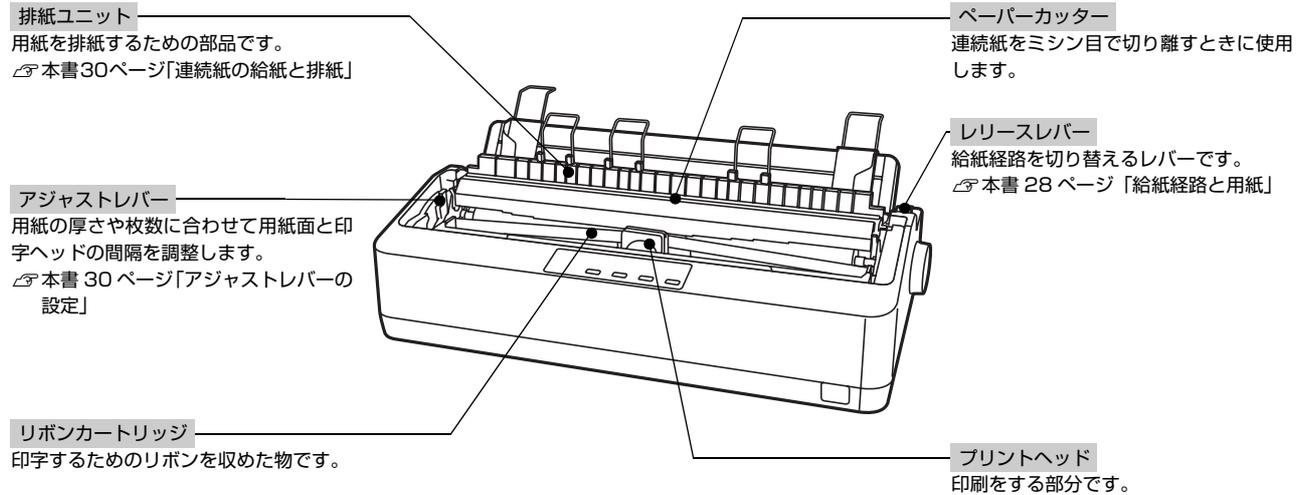
### 正面



### 背面 / 底面

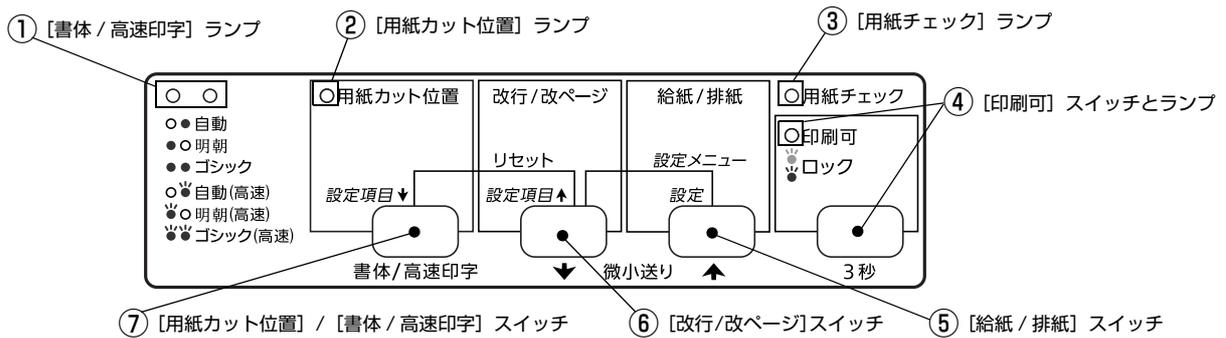


## 内部



## 操作パネル

操作パネル上のランプでプリンターの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。



ランプの表記 ○：点灯 ●：消灯 ◐：点滅

### ① [書体 / 高速印字] ランプ(緑)

ランプ	設定値	説明
● ○	自動	お使いのアプリケーションソフトがプリンターの内蔵書体を直接選択できるときは選択した書体で印刷します。アプリケーションソフトから選択できないときは漢字は明朝体、英数カナ文字は EPSON Roman で印刷します。
○ ●	明朝	漢字は明朝体、英数カナ文字は EPSON Roman で印刷します。
○ ○	ゴシック	漢字はゴシック体、英数カナ文字は EPSON Sans serif で印刷します。
● ◐	自動 (高速)	文字パターンのドットを間引きして、通常より高速で印字*します。
◐ ●	明朝 (高速)	
◐ ◐	ゴシック (高速)	

\*：Windows 環境下で高速印字をするには、さらにプリンタードライバーの [印刷品質] を [ドラフト] に設定する必要があります。  
☞ 『取扱説明書 - 詳細編』 (PDF マニュアル) - 「Windows からの印刷」 - 「プリンタードライバーの設定」 - 「設定項目」

#### 参考

書体の設定は、プリンターの内蔵書体で印刷する場合のみ有効です。オペレーティングシステムやアプリケーションソフトで書体 (TrueType フォントなど) を指定できるときは、このスイッチの設定よりソフトウェアの設定が優先されます。

プリンター内蔵書体の印字例

・明朝体

東西南北春夏秋冬  
セイコーエプソン  
あいうえお

・ EPSON Roman

0123456789  
ABCDEFGHIJKLMN  
abcdefghijklmn

・ゴシック体

東西南北春夏秋冬  
セイコーエプソン  
あいうえお

・ EPSON Sans serif

0123456789  
ABCDEFGHIJKLMN  
abcdefghijklmn

② [用紙カット位置] ランプ(緑)

ランプ	説明
☉	連続紙が用紙カット位置にある場合。
●	連続紙が用紙カット位置以外の位置にある場合。

③ [用紙チェック] ランプ(オレンジ)

ランプ	説明
○	用紙がありません。
☉	用紙が詰まった、または正常に排紙されませんでした。 パネルロックアウトモードがオンのとき、ロックされた操作をすると [印刷可] ランプと共に 3 秒間点滅します。

④ [印刷可] スイッチとランプ(緑)

ランプ	設定値	説明
○	印刷可	印刷可能な状態です。印刷可能状態でスイッチを短く(3秒未満)押すと、待機に変わります。
●	待機	印刷できない状態です。スイッチを短く(3秒未満)押すと、印刷可能な状態になります。印刷の途中でスイッチを押すと印刷が中断します。印刷を再開するには、もう一度スイッチを押します。
☉	微小送りモード	「ピッ」というブザーが鳴るまで3秒以上押すと、ランプが点滅し、微小送りモードになります。 用紙を排紙ユニット側へ移動させるときは [▲] スイッチを押します。 用紙をプッシュトラクター側へ移動させるときは [▼] スイッチを押します。 ☞ [取扱説明書 詳細編] (PDF マニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」 微小送りモードを終了させるには、[印刷可] スイッチを短く押します。
	パネルロックアウトモード	パネルロックアウトモードがオンのとき、ロックされた操作をすると [用紙チェック] ランプと共に 3 秒間点滅します。

⑤ [給紙 / 排紙] スイッチ

用紙の種類	説明
連続紙	プッシュトラクターに連続紙をセットした状態でスイッチを押すと給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、プッシュトラクター位置へ排紙します。
単票紙	印刷位置に用紙がある状態でスイッチを押すと、排紙します。



用紙ガイドから給紙する場合は [給紙 / 排紙] スイッチを押す必要はありません。用紙をセットして用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込むと用紙は自動給紙されます。

## ⑥ [改行 / 改ページ] スイッチ

- スイッチを短く押すと改行します。
- 連続紙が給紙されているときにスイッチを押し続けると、改ページします。
- 単票紙が給紙されているときにスイッチを押し続けると、排紙します。
- [用紙カット位置] スイッチと同時に押すと、プリンターをリセットします。  
☞ 『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) - 「付録」 - 「プリンターの仕様」 - 「初期化」

## ⑦ [用紙カット位置] / [書体 / 高速印字] スイッチ

- 連続紙への印刷終了後、[用紙カット位置] スイッチを押すと連続紙が用紙カット位置に紙送りされ (ティアオフ機能)、[用紙カット位置] ランプが点滅します。  
☞ 本書 30 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
- 書体選択モード時に [書体 / 高速印字] スイッチを押して印刷するプリンター内蔵書体を選択します。  
[印刷可] スイッチを 3 秒以上押して「ピッ」というブザーが鳴ってから指を離すと、書体選択モードに移行します。  
選択している書体により [書体 / 高速印字] ランプの表示が切り替わります。  
高速に設定すると、文字パターンのドットを間引きして通常より高速に印字します。試し印刷やリボンカートリッジの消耗を抑えたいときに設定してください。
- [改行 / 改ページ] スイッチと同時に押すと、プリンターをリセットします。  
☞ 『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) - 「付録」 - 「プリンターの仕様」 - 「初期化」

## ランプ表示によるプリンター状態

○：点灯 ●：消灯 ◐：点滅  
 ... = 短い断続音 (ピッピッピッ)、..... = 長い断続音 (ピーピーピーピー)

パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	問題
		対処方法
○ [印刷可] ランプ	—	印刷可能です。 —
● [印刷可] ランプ ○ [用紙チェック] ランプ	...	用紙切れです。 用紙をセットしてください。
	...	リリースレバーの設定が間違っています。 リリースレバーを適切な位置に設定します。 本書 28 ページ「給紙経路と用紙」
● [印刷可] ランプ ◐ [用紙チェック] ランプ	...	完全に排紙されていません。 [給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。
◐ [印刷可] ランプ	—	プリントヘッドが高温になったため、一時的に印刷を停止しました。 [印刷可] ランプの点滅が点灯に変わるまでお待ちください。
	—	微小送りモードが選択されています。 —
◐ [印刷可] ランプ ◐ [用紙チェック] ランプ (同時に 3 秒間点滅)	—	ロックアウトされた機能 (スイッチ) を押しました。 ☞ [取扱説明書 詳細編] (PDF マニュアル) - 「プリンター設定値の変更」 - 「操作パネルからの設定」 - 「操作パネルからの設定を制限する (パネルロックアウトモード)」 —
	—	連続紙のミシン目が用紙カット位置にあります。 ミシン目で切り離してください。
◐ [用紙カット位置] ランプ	—	連続紙のミシン目が用紙カット位置にあります。 ミシン目で切り離してください。
◐ すべてのランプ	.....	不明なプリンターエラーが発生しました。
		プリンターの電源を切って数分放置後、再度プリンターの電源を入れてください。それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

# プリンターのセットアップ

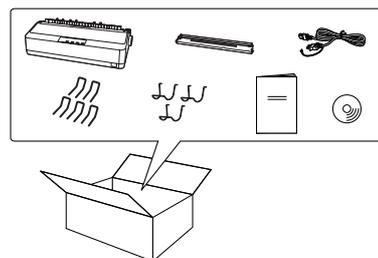
プリンターを箱から取り出し、プリンターが使用できるようにセットアップします。

## セットアップの流れ

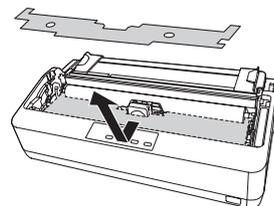
セットアップは以下の手順で行います。

### 1 同梱物の確認 📖 18 ページ

給紙サポートは VP-D1300 のみ同梱されています。

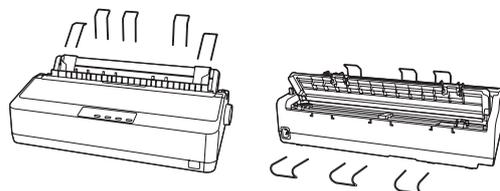


### 2 保護材の取り外し (VP-D1300のみ) 📖 18 ページ

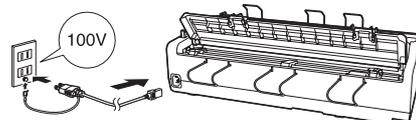


### 3 部品の取り付け 📖 19 ページ

同梱されている用紙サポートと給紙サポート (VP-D1300のみ) を取り付けます。

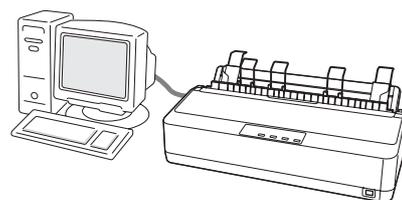


### 4 電源接続 📖 20 ページ

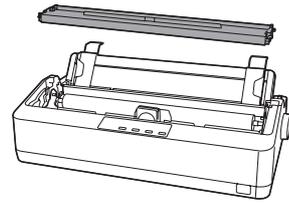


### 5 コンピューターとの接続 📖 21 ページ

お手持ちのケーブルでプリンターとコンピューターを接続します。

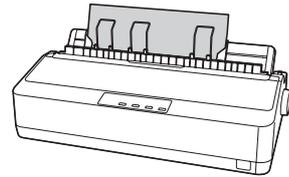


**6** リボンカートリッジの取り付け  22 ページ



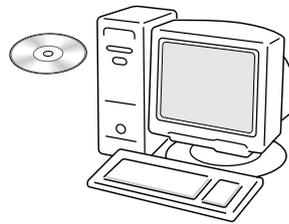
**7** 動作確認  24 ページ

プリンターが問題なく使用できるかどうかを確認します。



**8** プリンタードライバーと監視ユーティリティのインストール  26 ページ

Windows で使用するには、同梱のソフトウェアディスクに収録されているプリンタードライバーやユーティリティソフトなどをコンピューターにインストールする必要があります。

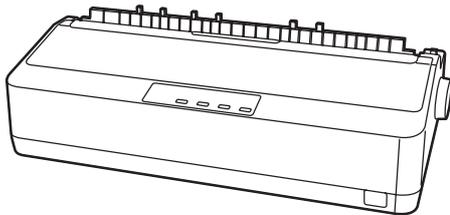


## 1. 同梱物の確認

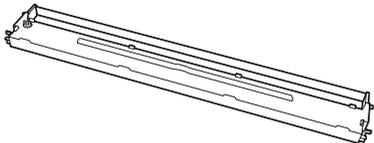
次のものがそろっていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

### □ プリンター本体



### □ リボンカートリッジ



### □ 用紙サポート (VP-D500)



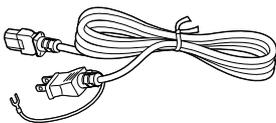
### □ 用紙サポート (VP-D1300)



### □ 給紙サポート (3個、VP-D1300のみ)



### □ 電源コード



### □ ソフトウェアディスク



- プリンタードライバー
- EPSON ステータスマニタ 3
- VP-D500/VP-D1300  
取扱説明書 詳細編 (PDF マニュアル)

### □ VP-D500/VP-D1300 取扱説明書 セットアップと使い方の概要編 (本書)

### □ 保証書

上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

## 2. 保護材の取り外し (VP-D1300のみ)

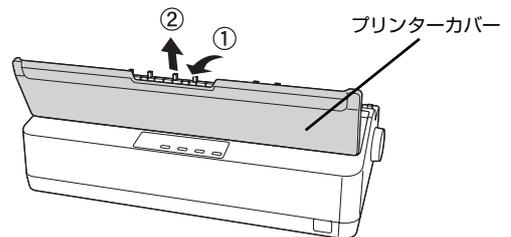
プリンター輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンターに取り付けられています。

以下の保護材を取り外してください。

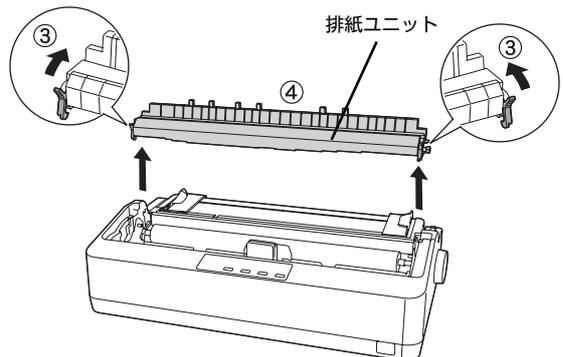
### ！注意

- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンターの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 下記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。

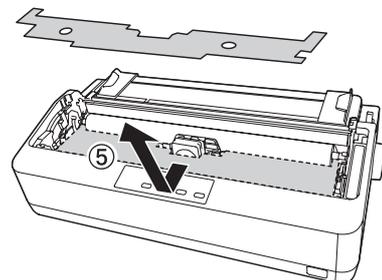
### 1 プリンターカバーを取り外します (①、②)。



### 2 排紙ユニットを取り外します (③、④)。



### 3 保護材を取り外します (⑤)。



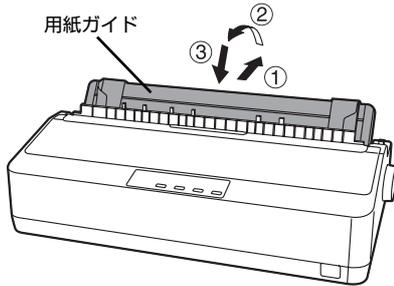
### 4 排紙ユニットとプリンターカバーを取り付けます。

### 3. 部品の取り付け

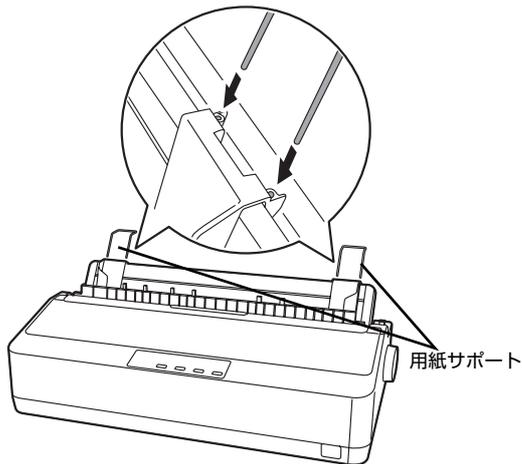
同梱されている用紙サポート (VP-D500 : 4 個、VP-D1300 : 5 個) と給紙サポート (3 個、VP-D1300 のみ) をプリンターに取り付けます。

#### 1 用紙ガイドを起こします。

用紙ガイドを後方に少しずらしてから手前に起こし、下方に押し固定します。



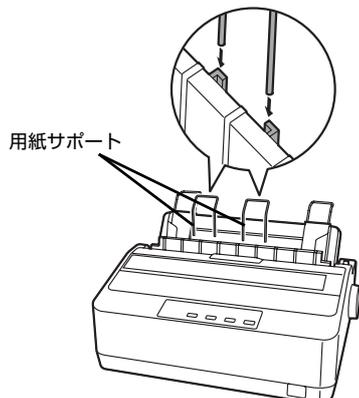
#### 2 用紙サポートを用紙ガイドの差し込み口 (2 箇所) に差し込みます。



#### 3 用紙サポートを排紙ユニットの差し込み口に差し込みます。

##### VP-D500

用紙サポート (2 個) を排紙ユニットの差し込み口 (2 箇所) に差し込みます。



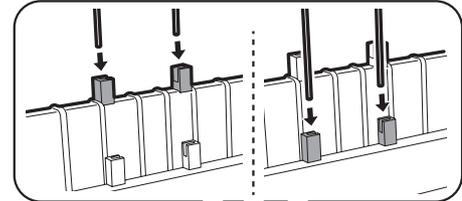
##### VP-D1300

使用する用紙によって用紙サポート (3 個) の取り付け位置が異なります。

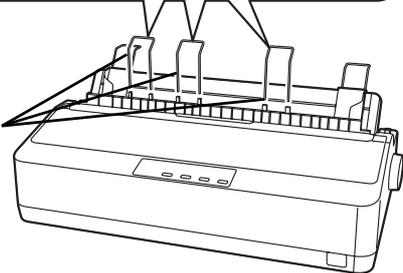
連続複写紙に印刷する場合は、排紙ユニット上面にある差し込み口 (3 箇所) に差し込みます。

連続複写紙以外の用紙に印刷する場合は、排紙ユニット背面にある差し込み口 (3 箇所) に差し込みます。

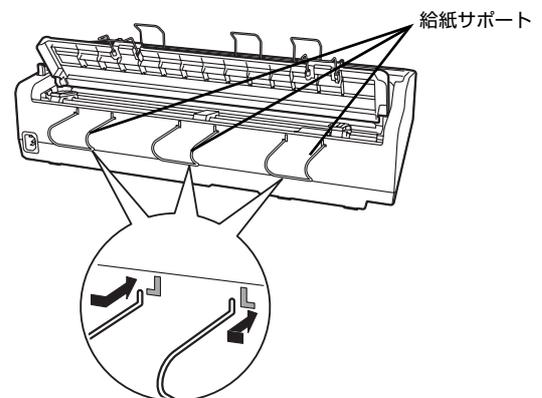
連続複写紙の場合 連続複写紙以外の場合



用紙サポート



#### 4 VP-D1300で連続紙を使用する場合は、給紙サポートを背面の差し込み口 (3 箇所) に取り付けます。



##### 参考

- VP-D500 には給紙サポートは同梱されていません。
- VP-D1300 で単票紙を使用する場合は、給紙サポートを取り付ける必要はありません。

以上で部品の取り付けは終了です。

## 4. 電源接続

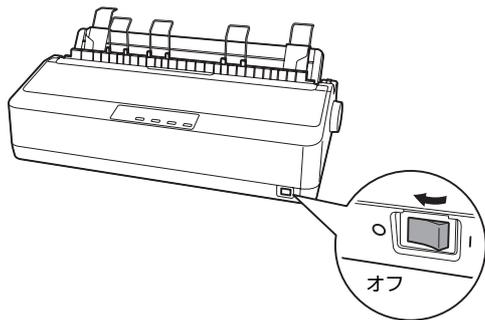
電源コードを電源コンセントに接続します。

### ⚠注意

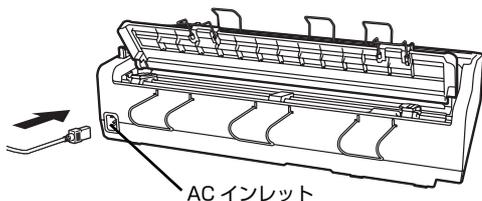
「ご使用前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。

📖 本書 4 ページ「ご使用前に」

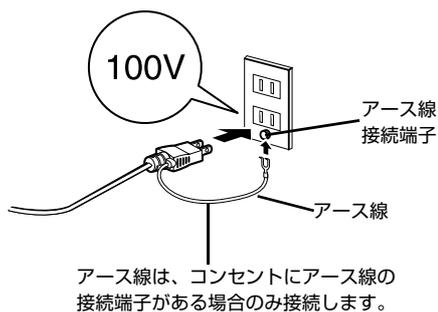
- 1 プリンターの電源が切れていることを確認します。



- 2 プリンター背面の AC インレットに電源コードを差し込みます。



- 3 AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。



### 参考

漏電による事故防止について

本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事に相談してください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

### ！注意

- 電源プラグをコンピューター背面のコンセントに接続しないでください。
- 電源の切/入は、5 秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短かすぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で電源を切らないでください。

## 5. コンピューターとの接続

プリンターをコンピューターに接続します。USB、パラレル、シリアルいずれかのインターフェイスケーブルを用意してください。

### 参考

接続ケーブルは、お使いのコンピューターや接続環境によって異なるため、本製品には同梱されていません。

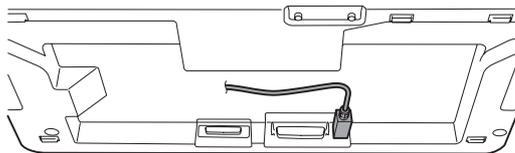
以下の純正ケーブルの使用をお勧めします。純正品以外のケーブルを使用すると、正常に印刷できない場合があります。

- USB インターフェイスケーブル：型番 USBCB2
- パラレルインターフェイスケーブル：型番 PRCB4N

**1** プリンターとコンピューターの電源が切れていることを確認します。

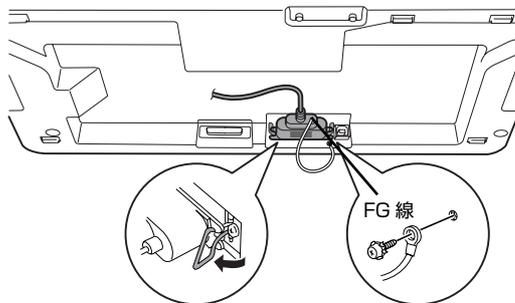
**2** インターフェイスケーブルをプリンター底面のコネクタに接続します。

・USB インターフェイスケーブル



USBインターフェイスケーブルをプリンター側のコネクタにしっかり差し込みます。

・パラレルインターフェイスケーブル

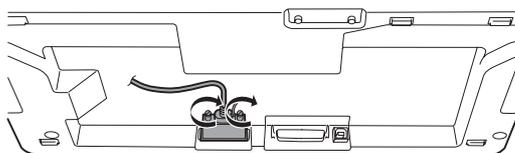


パラレルインターフェイスケーブルをプリンター側のコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に倒して固定します。

ケーブルにFG線（グラウンド線）\*が付いているときは、コネクタの横にあるFG線取り付けネジを使って接続します。

\*FG線（グラウンド線）：プリンターとコンピューターとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続する線。

・シリアルインターフェイスケーブル



### 参考

- DOS/V 機とシリアルインターフェイスで接続する場合は、市販の D-Sub25-9 クロスケーブルをお使いください。
- シリアルインターフェイスケーブルを接続するには、プリンター側の設定を確認・変更する必要があります。  
☞ 『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル） - 「プリンター設定値の変更」 - 「操作パネルからの設定」

**3** もう一方のコネクタをコンピューターのコネクタに差し込みます。

以上でコンピューターとの接続は終了です。コンピューター側の接続については、お使いのコンピューターのマニュアルをご覧ください。

### 参考

Windows の標準ネットワーク環境でプリンターを共有する場合は、本製品の標準インターフェイスをご利用いただけます。オプションは必要ありません。

プリンター共有については、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞ 『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル） - 「Windows からの印刷」 - 「プリンターの共有」

## 6. リボンカートリッジの取り付け

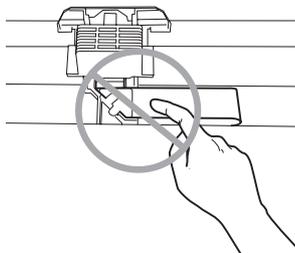
同梱されているリボンカートリッジをプリンターに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱くと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

### 参考

リボンカートリッジの取り付け手順はエプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/>) でもご案内しています。画面右上の検索欄に「リボンカートリッジ VP-D500」または「リボンカートリッジ VP-D1300」と入力すると、対象のFAQが表示されます。

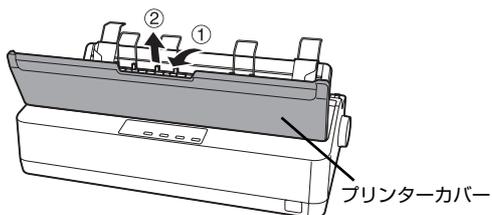
### 注意

- プリンターの電源を入れたまま作業を行うと故障の原因になります。必ず電源を切ってから行ってください。
- リボンカートリッジ取り付け時は、プリンター内部の白いケーブルに触れないでください。

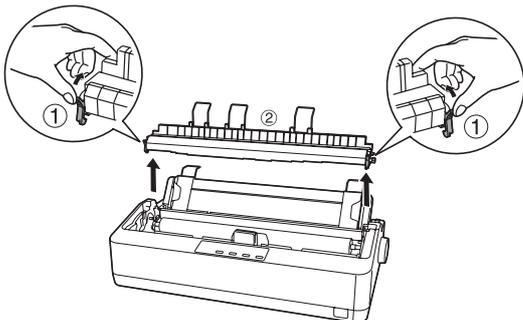


**1** プリンターの電源が切れていることを確認します。

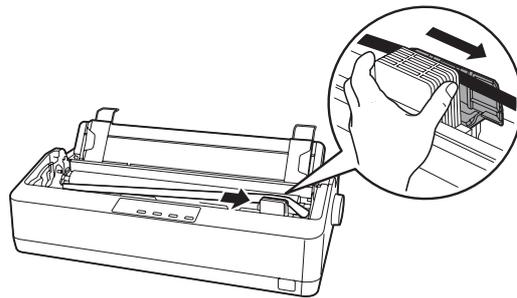
**2** プリンターカバーを取り外します。  
プリンターカバーを手前に開いてから、ゆっくり持ち上げ取り外します。



**3** 排紙ユニット左右のつまみをつまんで、後ろ方向に回転させるようにして取り外します。

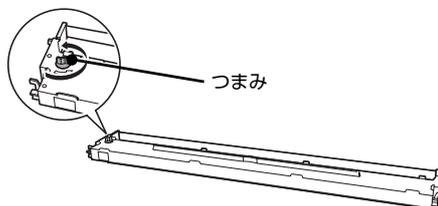


**4** プリントヘッドをリボン取り付け位置（右端）へ移動します。



**5** リボンカートリッジを袋から出し、リボンのたるみを取ります。

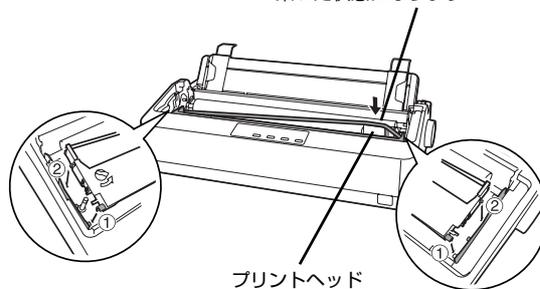
リボンカートリッジのつまみを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。



**6** リボンカートリッジの突起をプリンター両側の溝に合わせ、固定されるまで押し込みます。

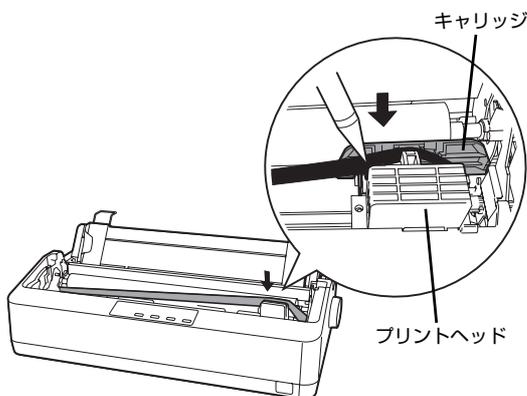
カートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

リボンはプリントヘッドの上に乗った状態になります

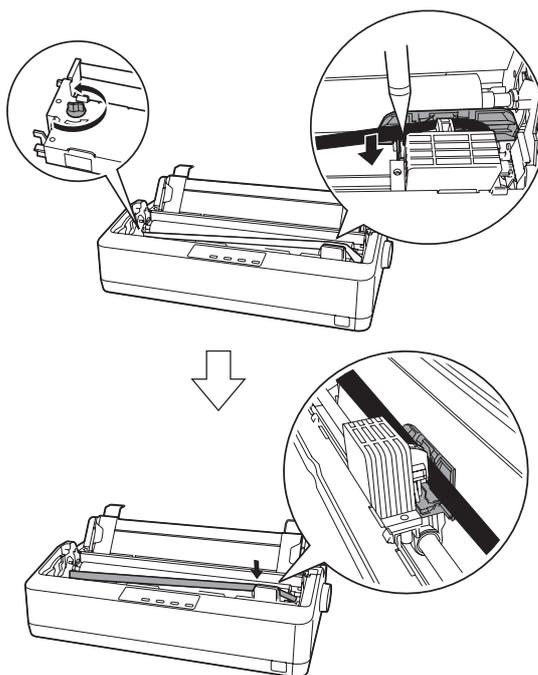


**7** ボールペンなどを使ってリボンの下端をプリントヘッドとキャリッジの間に入れ、リボンカートリッジのつまみを回してリボンを印字位置(プリントヘッドと同じ位置)まで下方に送ります。

①ボールペンなどを使い、リボンの下端をプリントヘッドとキャリッジの間に入れます。

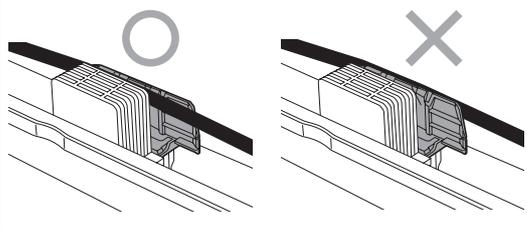


②ボールペンなどをリボンに添えながらリボンカートリッジのつまみを回すと、リボンが下方に送られます。

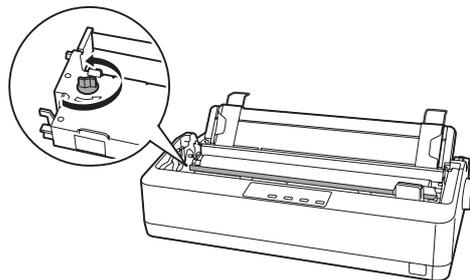


**！注意**

リボンはキャリッジとプリントヘッドの間を通してください。

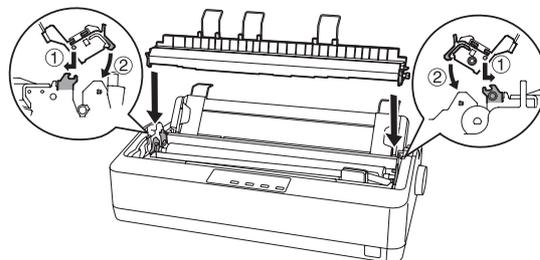


**8** リボンカートリッジのつまみを再度回して、リボンのたるみを取ります。

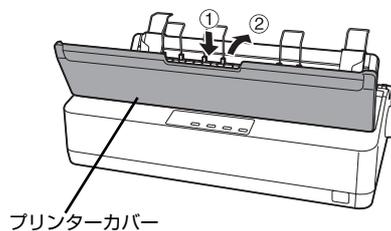


リボンのたるみを取り、リボンが自由に動くこと、リボンにねじれや折れがないことを確認してください。

**9** 排紙ユニット両側のフックをプリンターに引っ掛け、ユニットの下部を押し込むようにして取り付けます。



**10** プリンターカバーを取り付けます。



続いてプリンターの動作確認を行います。



**6****動作確認を終了します。**

[印刷可] スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンターに用紙が残っているときは、[給紙 / 排紙] スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

**！注意**

電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短かすぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。

**7****印刷結果を確認します。**

**5** の印刷結果のように印刷されていればプリンターは正常に動作しています。

手順通りに実行しても印刷できない、プリンターが動作しない、などのトラブルが発生したときは『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）を参照して解決してください。  
[📄 本書 40 ページ 「PDF マニュアルの紹介と使い方」](#)

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタードライバーなどをインストールします。

## 8. プリンタードライバーと監視ユーティリティのインストール

Windows プリンタードライバーやプリンター監視ユーティリティ（EPSON ステータスマニタ 3）をインストールします。

### 動作条件

プリンタードライバー

対象 OS	Windows 2000/XP/Vista/7/8/8.1
-------	-------------------------------

プリンター監視ユーティリティ

対象 OS	Windows 2000/XP/Vista/7/8/8.1
監視可能な接続状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラレルおよび USB 接続でのローカルプリンター</li> <li>Windows 共有プリンター</li> </ul>

#### 参考

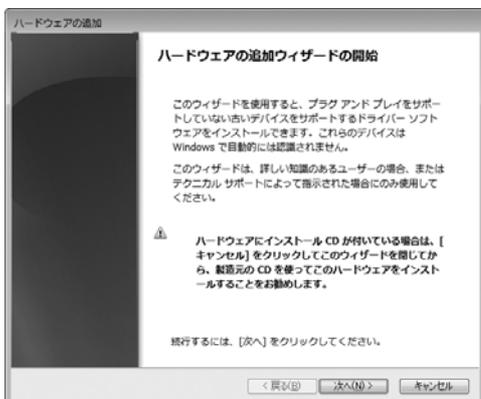
- EPSON ステータスマニタ 3 は、プリンターの状態を監視してエラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。監視できるプリンターの接続形態は以下です。
  - パラレル接続または USB 接続でのローカルプリンター
  - Windows 共有プリンター
 双方向通信をサポートしていないコンピューターでは使用できません。
- Windows プリンタードライバーを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタードライバーや EPSON ステータスマニタ 3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタードライバーや EPSON ステータスマニタ 3 をインストールしないようにしてください。

**1** プリンターの電源を切ります。  
指示があるまでプリンターの電源を入れないでください。

**2** Windows を起動します。  
管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

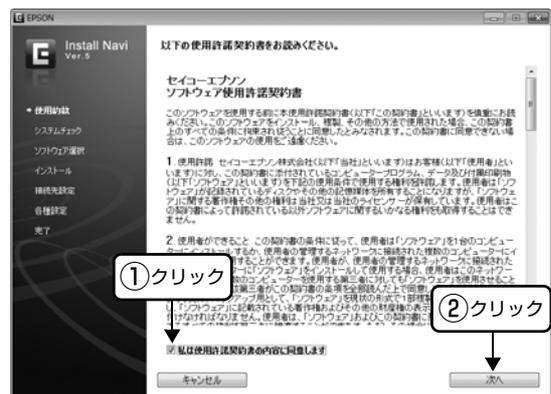
#### 参考

以下のような画面が表示されたときは [キャンセル] をクリックしてください。

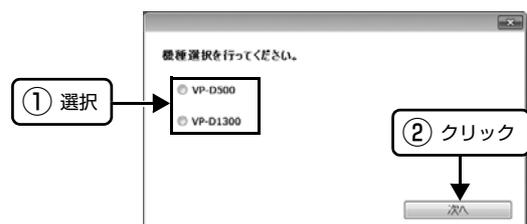


**3** 本製品に同梱されているソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。

**4** 以下の画面が表示されたら、内容を確認し、[私は使用許諾契約書の内容に同意します] をクリックして、[次へ] をクリックします。  
本契約内容に同意されない場合は、[キャンセル] をクリックしてインストールを中止します。

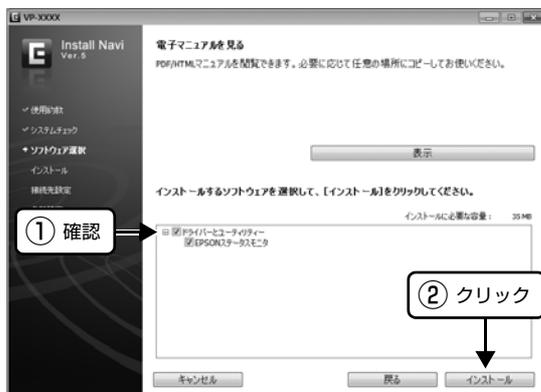


**5** お使いのプリンター名を選択し、[次へ] をクリックします。



## 6 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。



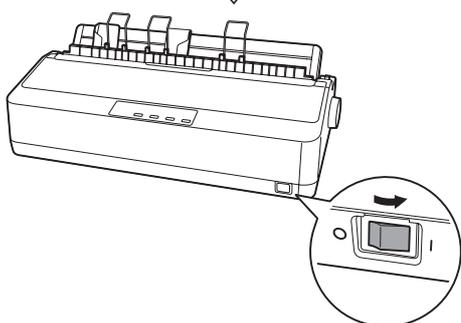
### 参考

Windows 2000 で以下の画面が表示されたら、[はい] をクリックして、操作を続行してください。



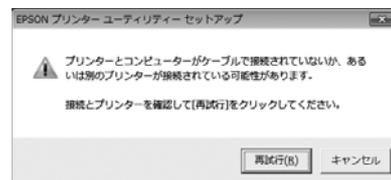
## 7 しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンターの電源を入れてください。

プリンターの接続先を設定します。



### 参考

- 7の画面表示後、約3分経過してもプリンターの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。



プリンターの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、[再試行] をクリックし、[手動設定] から接続しているポートを選択してください。

- ネットワークで接続している場合は [手動設定] をクリックして設定してください。ポートの設定は後で変更できます。  
『取扱説明書 詳細編』(PDF マニュアル) – 「Windows からの印刷」 – 「プリンターの共有」

## 8 以下のような画面が表示されたら、[終了] をクリックします。



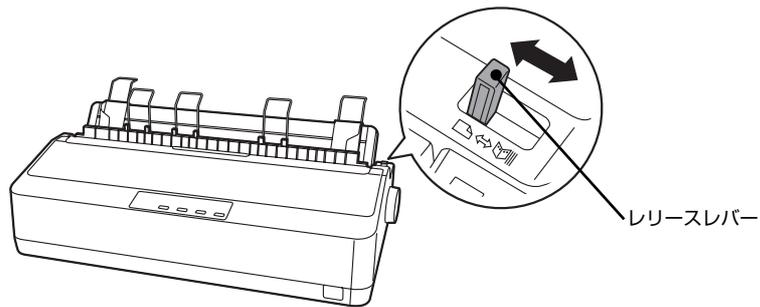
以上で終了です。

# 給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法を説明します。

## 給紙経路と用紙

本製品には以下のような給紙経路があり、使用する用紙種類に応じてリリースレバーを設定します。



用紙種類	給紙経路	リリースレバーの設定	給紙方法
連続紙 <ul style="list-style-type: none"> <li>上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙）</li> <li>複写紙は最大4枚（オリジナル+3枚）まで可</li> <li>連続ラベル紙は使用不可</li> </ul>		連続紙 (☑) 側	プッシュトラクターから連続紙を給紙します。
単票紙 <ul style="list-style-type: none"> <li>上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙）</li> <li>複写紙は最大4枚（オリジナル+3枚）まで可</li> <li>単票ラベル紙は使用不可</li> <li>単票複写紙は用紙ガイドから給紙します。</li> <li>横のり綴じの単票複写紙は使用できません。</li> </ul>		単票給紙 (☐) 側	用紙ガイドから単票紙を手差し給紙します。

## 印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。

☞『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

### ・連続紙(連続複写紙)

VP-D500 :

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙 (オリジナル+3枚まで)
用紙幅	101.6 ~ 254mm (4.0 ~ 10.0 インチ)	
ページ長	101.6 ~ 558.8mm (4.0 ~ 22.0 インチ)	
用紙厚	0.065 ~ 0.32mm	
用紙連量	45 ~ 70kg (坪量 52 ~ 82g/m <sup>2</sup> )	34 ~ 50kg (坪量 40 ~ 58g/m <sup>2</sup> ) (1 枚当たり)

VP-D1300 :

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙 (オリジナル+3枚まで)
用紙幅	101.6 ~ 406.4mm (4.0 ~ 16.0 インチ)	
ページ長	101.6 ~ 558.8mm (4.0 ~ 22.0 インチ)	
用紙厚	0.065 ~ 0.32mm	
用紙連量	45 ~ 70kg (坪量 52 ~ 82g/m <sup>2</sup> )	34 ~ 50kg (坪量 40 ~ 58g/m <sup>2</sup> ) (1 枚当たり)

※ 用紙連量は、四六判紙 (788 × 1091mm<sup>2</sup>) 1000 枚の質量を kg で表したものです。

※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m<sup>2</sup> で表したものです。

### 参考

プリンタードライバーでの、連続紙の「用紙サイズ」の設定は以下を参考にしてください。

- ① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。
- ② プリンタードライバー上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 8inch × 縦 4.67inch の用紙とします）。
- ③ プリンタードライバーの【用紙サイズ】リストから、8×4.67inch に合うサイズとして、「10×4 2/3inch」を選択します。プリンタードライバー上では、4.67inch を 4 2/3inch と分数で表現しています。

### ・単票紙(単票複写紙)

VP-D500 :

項目	一枚紙	複写紙*
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙 (オリジナル+3枚まで)
用紙幅	100 ~ 257mm (3.9 ~ 10.1 インチ)	
用紙長	100 ~ 364mm (3.9 ~ 14.3 インチ)	
用紙厚	0.065 ~ 0.14mm	0.12 ~ 0.32mm
用紙連量	45 ~ 78kg (坪量 52 ~ 90g/m <sup>2</sup> )	34 ~ 50kg (坪量 40 ~ 58g/m <sup>2</sup> ) (1 枚当たり)

VP-D1300 :

項目	一枚紙	複写紙*
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙 (オリジナル+3枚まで)
用紙幅	148 ~ 420mm (5.8 ~ 16.5 インチ)	
用紙長	100 ~ 364mm (3.9 ~ 14.3 インチ)	
用紙厚	0.065 ~ 0.14mm (ハガキは約0.22mm)	0.12 ~ 0.32mm
用紙連量	45 ~ 78kg (坪量 52 ~ 90g/m <sup>2</sup> ) (ハガキは 39 ~ 78kg (坪量 45 ~ 90g/m <sup>2</sup> ))	34 ~ 50kg (坪量 40 ~ 58g/m <sup>2</sup> ) (1 枚当たり)

※ 用紙連量は、四六判紙 (788 × 1091mm<sup>2</sup>) 1000 枚の質量を kg で表したものです。

※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m<sup>2</sup> で表したものです。

\*: 天のり綴じのみ。天のり側から給紙してください。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

VP-D500 :

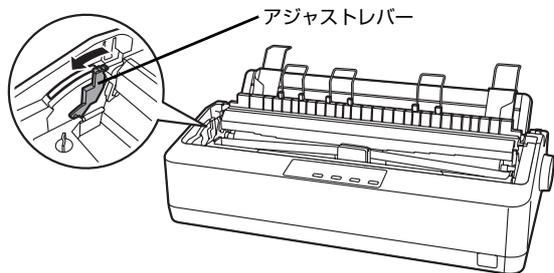
用紙サイズ	一枚紙	複写紙
A4 (210 × 297mm)	縦長	縦長
A5 (148 × 210mm)	縦長、横長	縦長、横長
A6 (105 × 148mm)	縦長、横長	縦長、横長
B4 (257 × 364mm)	縦長	縦長
B5 (182 × 257mm)	縦長、横長	縦長、横長

VP-D1300 :

用紙サイズ	一枚紙	複写紙
A3 (297 × 420mm)	横長	横長
A4 (210 × 297mm)	縦長、横長	縦長、横長
A5 (148 × 210mm)	縦長、横長	縦長、横長
A6 (105 × 148mm)	縦長、横長	縦長、横長
B4 (257 × 364mm)	縦長、横長	縦長、横長
B5 (182 × 257mm)	縦長、横長	縦長、横長
ハガキ (100 × 148mm)	横長	—

## アジャストレバーの設定

給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。



アジャストレバーの設定値	用紙の種類・枚数						紙厚 (mm)	
	1枚紙	複写紙			ハガキ*	最小	最大	
		2枚	3枚	4枚				
-1	○					0.006	0.12	
0	○					0.006	0.12	
1	○	○				0.12	0.19	
2			○		○	0.19	0.26	
3				○		0.26	0.32	

※ 4、5、6 は使用しません。

\* : VP-D1300 のみ。VP-D500 では使えません。

### ！注意

- 厚紙や特殊紙に印刷する際は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定するときは、必ず印字推奨領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印字推奨領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- 用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、リボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。

## 連続紙の給紙と排紙

本製品は、プッシュトラクター（プリンター背面）から連続紙を給紙することができます。

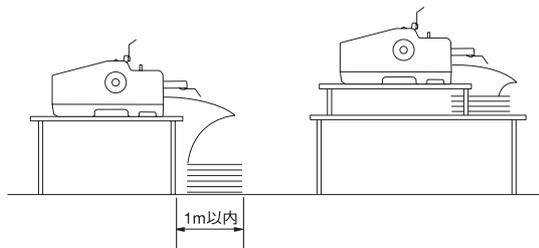
☞ 本書 28 ページ「給紙経路と用紙」

### ！注意

印刷開始位置がずれたりプリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対に行わないでください。

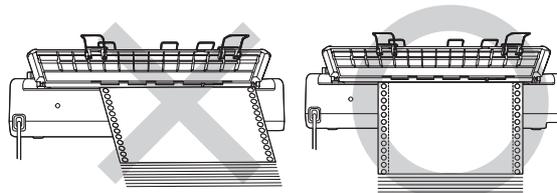
- プリンターの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンターの電源を入れたまま、連続紙がプリンター内に給紙された状態で、プッシュトラクターから用紙を外して引き抜く。
- プリンターの電源を入れたまま、[給紙 / 排紙] スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンターの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンター内部に送る。

連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンターをお使いください。



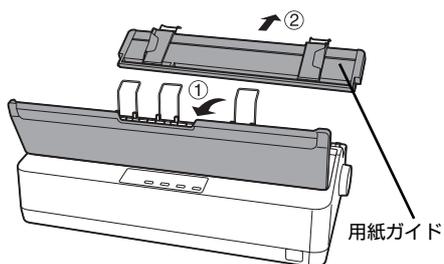
### 参考

- 連続紙が機の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンターを配置してください。
- 連続紙が引っかからないよう、プリンターに対してまっすぐ給紙してください。

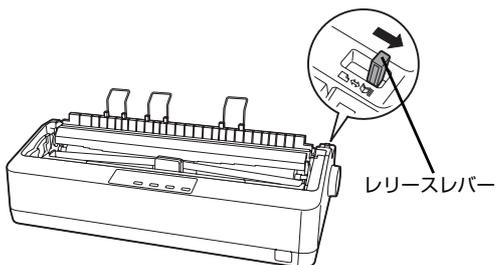


- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 用紙ガイドを取り外します。

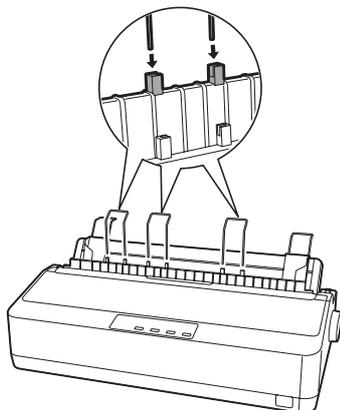


2 リリースレバーを連続紙 ( ) 側に倒します。



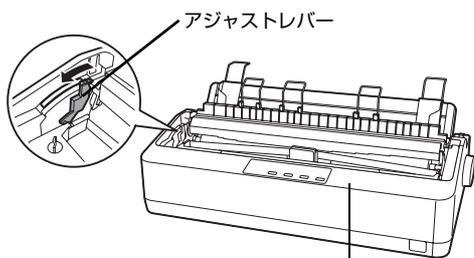
参考

VP-D1300 で連続複写紙に印刷する場合は、用紙サポート (3 個) が排紙ユニット上面にある差し込み口に取り付けられていることを確認してください。



3 プリンターカバーを開けて、アジャストレバーを複写紙の枚数に合わせて設定します。

☞ 本書 30 ページ「アジャストレバーの設定」



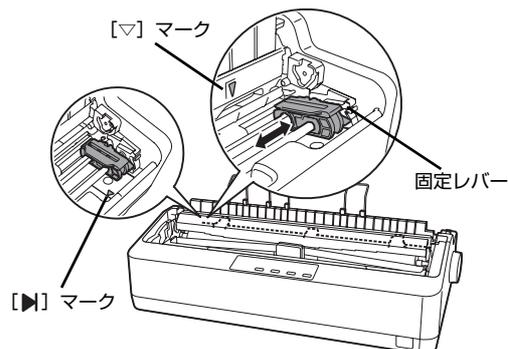
細部をご覧いただくために、イラストはプリンターカバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンターカバーを取り外す必要はありません。

4 左側のスプロケットの位置を調整し、固定します。

固定レバーを上げてロックを解除し、プリンター後部の [▶] マークを目安にスプロケットの位置を決め、固定レバーを下げてロックします。

[▶] マークは用紙の左端の基本位置です。

用紙によってはセット位置の微調整が必要です。その場合は、プリンター後部の [▽] マーク (1 桁目の印字開始位置) を参考にスプロケットの位置をずらして調整してください。



参考

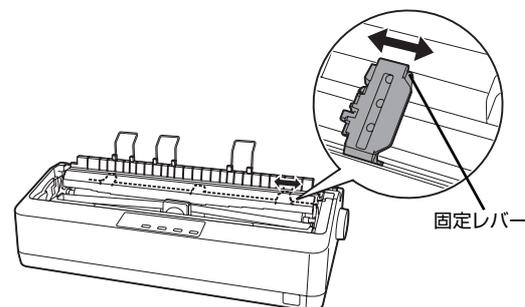
ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。

- ① 用紙のセット位置を確認します。  
1 桁目の印字開始位置を [▽] マークに合わせてください。
- ② ソフトウェアのマージン (余白) 設定を確認します。

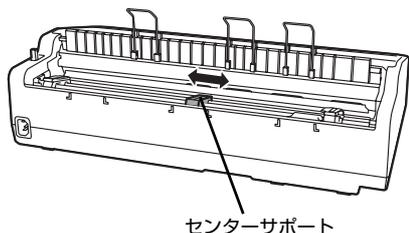
それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

5 右側のスプロケットを用紙の幅に合わせて調整します。

固定レバーを上げてロックを解除し、連続紙のピン穴に合わせて位置を調整します。まだロックはしません。

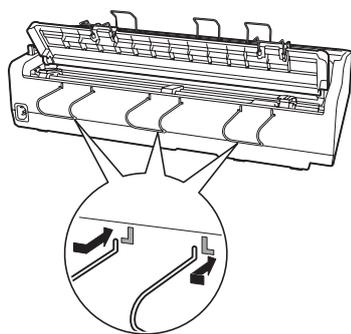


- 6** センターサポートを用紙幅の中央になるように調整します。



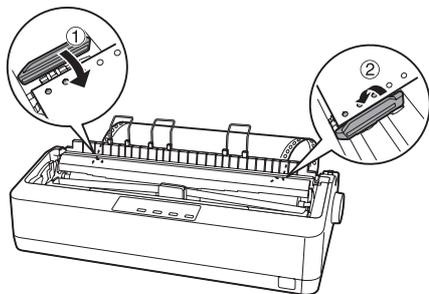
**参考**

VP-D1300 をお使いの場合は、プリンター背面に給紙サポート (3 個) が取り付けられていることを確認してください。



- 7** スプロケットカバーを開けて、連続紙をセットします。

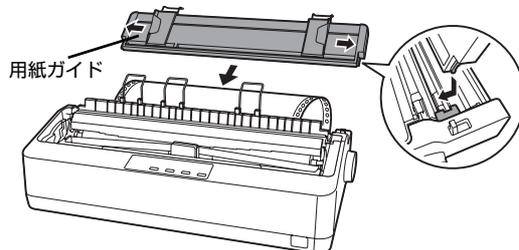
連続紙がたるんだり、きつく張りすぎているときは、右のスプロケットの位置を調整してください。



- 8** 右側のスプロケットの固定レバーを下げてロックします。

- 9** 用紙ガイドを取り付けます。

用紙ガイドをプリンターの斜め上からプリンター側の溝にはめ込みます。その後、用紙ガイドを上方に持ち上げてからプリンター後方に倒し、手前に押し込み固定します。



- 10** [印刷可] ランプが点灯していることを確認して、印刷を実行します。

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

**！注意**

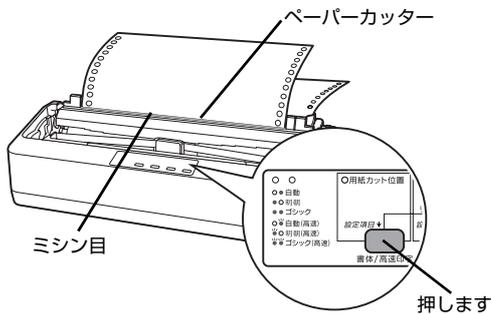
- 用紙ガイドは後ろに倒してください。用紙ガイドを倒さないと、紙詰まりを起こす場合があります。
- プリンターの電源を入れたまま、紙送りノブを回して排紙したり、連続紙がプリンター内に給紙された状態でプッシュトラクターから用紙を外して引き抜いたりしないでください。印刷開始位置がずれたり、プリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。
- 給紙されないときは、連続紙をセットし直してください。
- 斜めに給紙されたときは、プリンターの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

**参考**

- 印刷する前に、以下を設定してください。
  - プリンタードライバー経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。  
[☞ \[取扱説明書 詳細編\] \(PDF マニュアル\)](#)  
 - 「Windows からの印刷」 - 「プリンタードライバーの設定」
  - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。  
[☞ \[取扱説明書 詳細編\] \(PDF マニュアル\)](#)  
 - 「プリンター設定値の変更」
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。  
[☞ \[取扱説明書 詳細編\] \(PDF マニュアル\)](#) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」 - 「用紙位置の微調整 (微小送り)」

11

印刷が終了したら、[用紙カット位置] スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

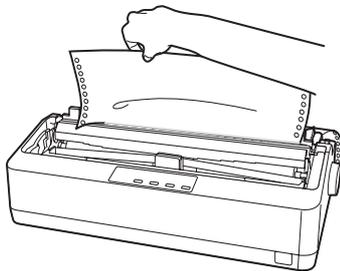


### 参考

- 自動ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙が自動でカット位置まで紙送りされます。設定方法は以下を参照してください。  
☞『取扱説明書-詳細編』(PDF マニュアル) - 「ティアオフと微小送り」 - 「連続紙の切り離し(ティアオフ)」
- プリンター後部のプッシュトラクターからの給紙で、切断するミシン目と用紙ガイドのペーパーカッターの位置がずれているときは微小送りで調整してください。  
[印刷可] スイッチをブザーが鳴るまで押す ([印刷可] ランプ点滅) ことで [改行 / 改ページ] と [給紙 / 排紙] スイッチが [微小送り] スイッチとして機能するようになります。  
- [↑] スイッチを押すと、用紙は排紙ユニット側へ約 0.14mm (1/180 インチ) 単位で送られます。  
- [↓] スイッチを押すと、用紙はプッシュトラクター側へ約 0.14mm (1/180 インチ) 単位で送られます。  
微小送りの詳細は以下を参照してください。  
☞『取扱説明書 - 詳細編』(PDF マニュアル) - 「ティアオフと微小送り」 - 「用紙位置の微調整(微小送り)」

12

印刷が終了したページをミシン目で切り離します。



13

[用紙カット位置] スイッチを押して給紙位置へ戻します。

[給紙 / 排紙] スイッチを押すと、プッシュトラクターまで連続紙が戻ります。  
電源を切る場合は、連続紙をスプロケット位置まで戻しておいてください。

以上で終了です。

## 単票紙の給紙と排紙

### ！注意

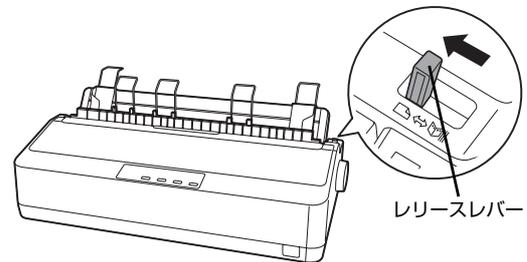
印刷開始位置がずれたりプリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対に行わないでください。

- プリンターの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンターの電源を入れたまま、用紙を引き抜く。
- プリンターの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンター内部に送る。

単票紙は、用紙ガイドから 1 枚ずつ給紙することができます。

1

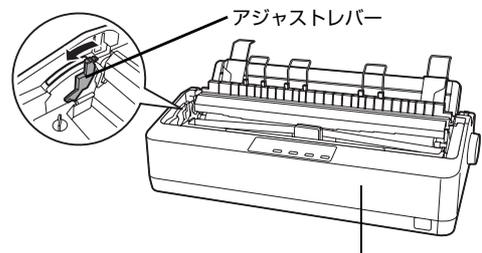
リリースレバーを単票給紙側(□)に倒します。



2

プリンターカバーを開けて、アジャストレバーを複写紙の枚数に合わせて設定します。

☞ 本書 30 ページ「アジャストレバーの設定」



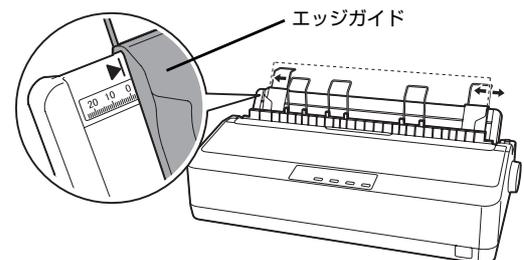
細部をご覧いただくために、イラストはプリンターカバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンターカバーを取り外す必要はありません。

3

左のエッジガイドを用紙ガイドの「0」の位置に合わせ、右のエッジガイドを単票紙の幅に合わせます。

定形紙は以下を参照して正しくセットしてください。

☞ 本書 29 ページ「印刷できる用紙」



### 参考

- 左のエッジガイドの位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を調整してください。
- VP-D1300でA3横の単票紙に印刷する場合は、左のエッジガイドを用紙ガイドのマーク(▶)の左側にずらして紙幅に合わせてください。

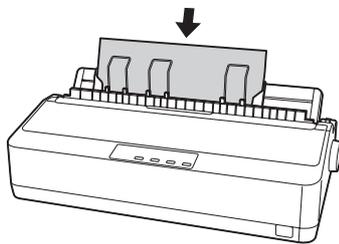
4

**【印刷可】ランプが点灯していることを確認して、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。**

用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

用紙は以下の点に注意してセットしてください。

- 印字面を裏側にしてセットすること
- 複写紙はのり付け部分を下にしてセットすること



### ！注意

プリンターの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。

### 参考

- DOS環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。  
☞ 『取扱説明書 詳細編』(PDFマニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」 - 「用紙位置の微調整(微小送り)」
- プリンタードライバー経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

5

**印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。**

プリンター内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙]スイッチを押して排紙します。

以上で終了です。

## 連続紙と単票紙の切り替え

プッシュトラクターに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて給紙することができます。

## 連続紙から単票紙への切り替え

### 参考

連続紙の先端がプッシュトラクターの位置にある場合は、4から進めてください。

1

**連続紙の印刷が終了したら、[用紙カット位置]スイッチを押します。**

連続紙がミシン目カット位置まで紙送りされます。

2

**連続紙を切り離します。**

3

**【給紙 / 排紙】スイッチを押します。**

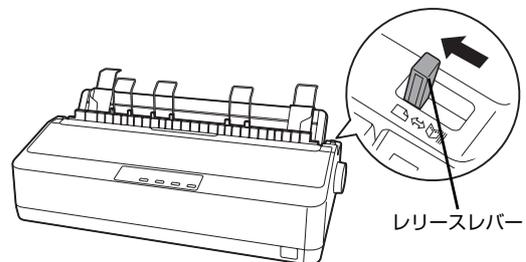
セットした連続紙はプッシュトラクターの位置まで戻りますが、プッシュトラクターからは外れません。

4

**用紙ガイドから給紙する場合は、用紙ガイドを起こします。**

5

**プリンター右側のリリースレバーを単票給紙側(□)に倒します。**



6

**連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。**

☞ 本書 30 ページ「アジャストレバーの設定」

7

**単票紙を用紙ガイドにセットします。**

エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票紙を奥まで差し込みます。

☞ 本書 33 ページ「単票紙の給紙と排紙」

8

**印刷を実行します。**

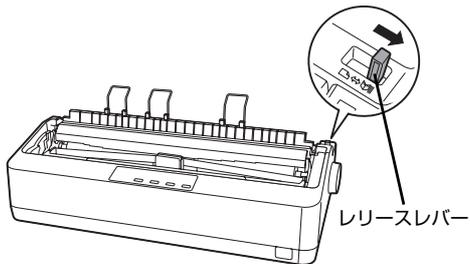
以上で終了です。

## 単票紙から連続紙への切り替え

- 1** 単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。

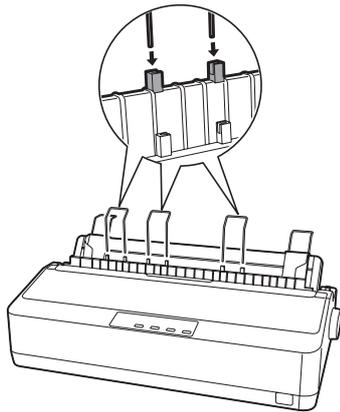
印刷途中の用紙がプリンター内に残っている場合は、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。

- 2** プリンター右側のリリースレバーを連続紙側 ( ) に倒します。



### 参考

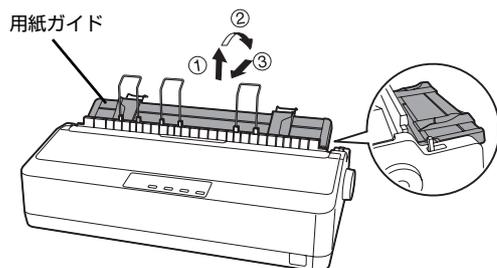
VP-D1300 で連続複写紙に印刷する場合は、用紙サポート (3 個) が排紙ユニット上面にある差し込み口に取り付けられていることを確認してください。



- 3** 単票紙と連続紙で厚さが異なる場合は、アジャストレバーを設定し直します。

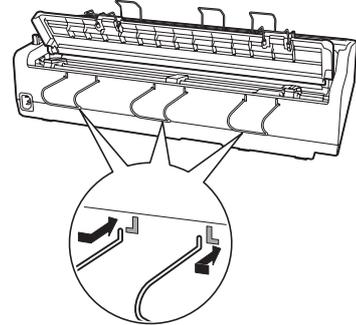
☞ 本書 30 ページ「アジャストレバーの設定」

- 4** 用紙ガイドを連続紙位置に倒します。  
用紙ガイドを上方に持ち上げてからプリンター後方に倒し、手前に押し込み固定します。



### 参考

VP-D1300 をお使いの場合は、プリンター背面に給紙サポート (3 個) が取り付けられていることを確認してください。



- 5** 印刷を実行します。

印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

### ！注意

印刷データを送る前にプッシュトラクターに用紙がセットされていることを確認してください。

以上で終了です。

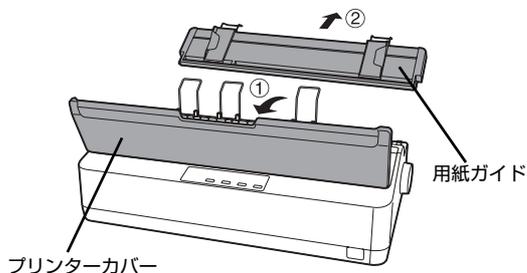
## 用紙が詰まったときは

用紙が詰まったときは、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

### ⚠注意

プリンターを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

- 1 プリンターの電源を切ります。
- 2 単票紙が用紙ガイドで詰まっているときは、ゆっくり引き抜きます。
- 3 連続紙が詰まっているときは、プリンターカバーを開け、用紙ガイドを取り外します。



- 4 給紙前の連続紙をミシン目で切り離します。
- 5 紙送りノブを回して、詰まっている用紙を取り除きます。

### ！注意

紙送りノブを回すときは、必ず電源を切ってください。

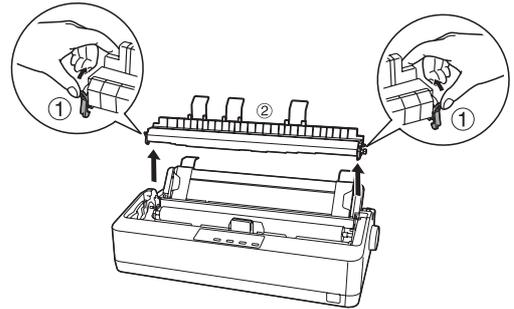
### 参考

紙送りノブを回したときに、コントロールパネルのライトが点滅することがありますが、故障ではありません。

- 6 用紙ガイドを取り付け、プリンターカバーを閉じます。
- 7 プリンターの電源を入れます。  
[用紙チェック] ランプと [印刷可] ランプが消えていることを確認します。

## プリンター内部に用紙が残ったときは

- 1 プリンターの電源を切ります。
- 2 プリンターカバーを開け、リリースレバーを連続紙位置 (3) にします。
- 3 排紙ユニット左右のつまみをつまんで、後ろ方向に回転させるようにして取り外します。



- 4 詰まっている用紙を取り除きます。
- 5 排紙ユニットを取り付けます。
- 6 使用する用紙に合わせてリリースレバーを設定します。
- 7 プリンターの電源を入れ、用紙をセットし直し、プリンターカバーを取り付けます。

## 用紙詰まりの予防

用紙のセット時は、以下の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。  
☞ 本書 29 ページ「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。  
☞ 本書 30 ページ「連続紙の給紙と排紙」  
☞ 本書 33 ページ「単票紙の給紙と排紙」  
☞ 本書 34 ページ「連続紙と単票紙の切り替え」
- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れないことを確認してください。
- VP-D1300 で連続紙に印刷する場合は、用紙をスムーズに給紙するために、プリンター背面に給紙サポート (3 個) を取り付けてください。

# リボンカートリッジの交換

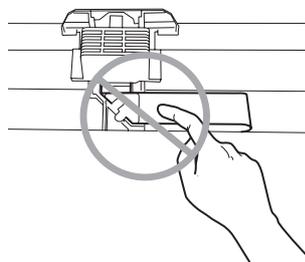
インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

## 参考

- リボンカートリッジは純正品\*のご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、本体や印刷品質に悪影響が出るなど、本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。  
\*: VP-D500 の場合 : 型番 VPD500RC  
VP-D1300 の場合 : 型番 VPD1300RC
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- リボンカートリッジの交換手順はエプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/>) でもご案内しています。画面右上の検索欄に「リボンカートリッジ VP-D500」または「リボンカートリッジ VP-D1300」と入力すると、対象のFAQが表示されます。

## 注意

- プリンターの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。
- リボンカートリッジ交換時は、プリンター内部の白いケーブルに触れないでください。



1

プリンターの電源を切ります。

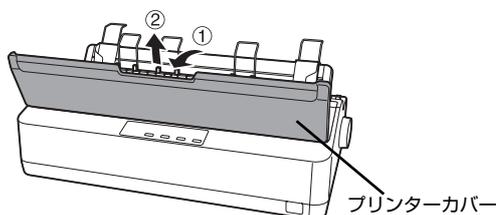
### 注意

プリンターを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

2

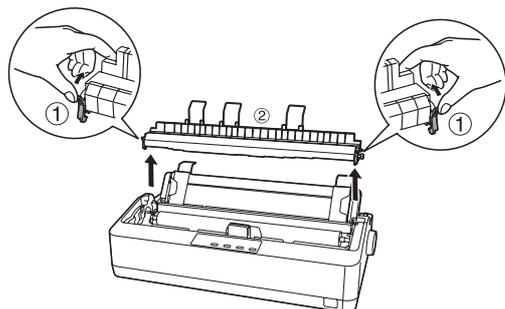
プリンターカバーを取り外します。

プリンターカバーを手前に開いてから、ゆっくり持ち上げ取り外します。



3

排紙ユニット左右のつまみをつまんで、後ろ方向に回転させるようにして取り外します。

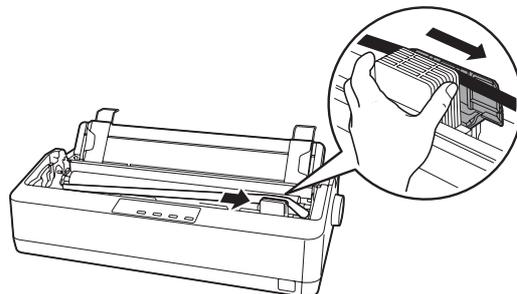


4

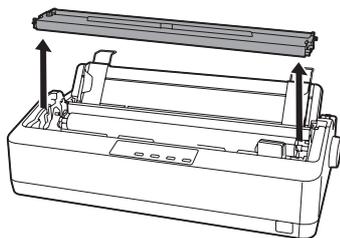
プリントヘッドをリボン取り付け位置 (右端) へ移動します。

### 注意

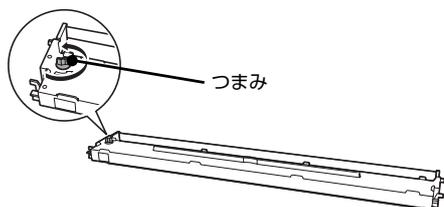
プリンターを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、絶対にプリントヘッドに触れないでください。  
プリントヘッドの温度が下がってから移動してください。



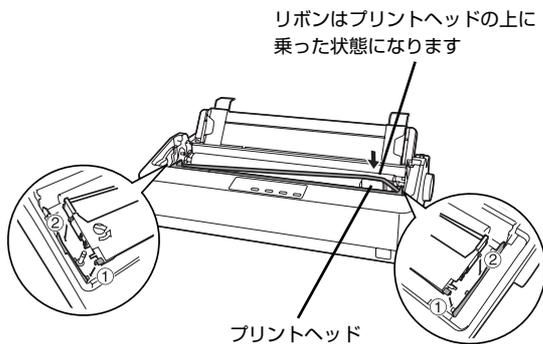
- 5 リボンカートリッジの両端を持ち、引き上げるようにして取り外します。



- 6 新しいリボンカートリッジを袋から取り出し、つまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。

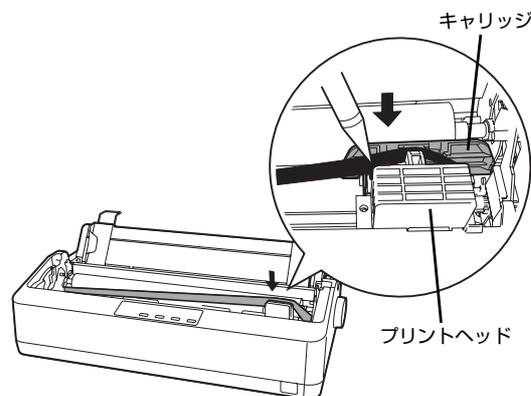


- 7 リボンカートリッジの突起をプリンター両側の溝に合わせ、固定されるまで押し込みます。カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

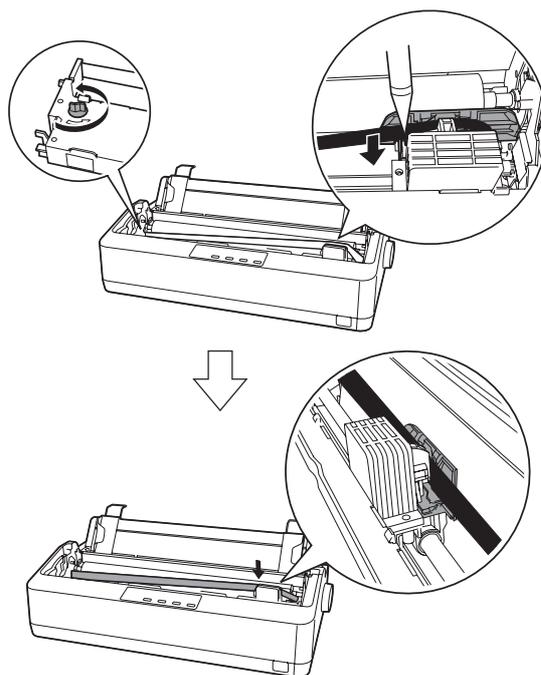


- 8 ボールペンなどを使ってリボンの下端をプリントヘッドとキャリッジの間に入れ、リボンカートリッジのつまみを回してリボンを印字位置(プリントヘッドと同じ位置)まで下方に送ります。

①ボールペンなどを使い、リボンの下端をプリントヘッドとキャリッジの間に入れます。

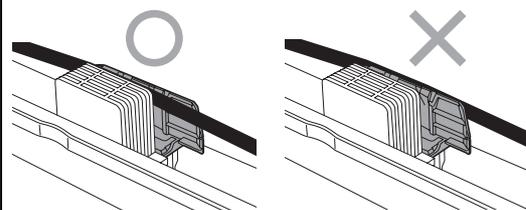


②ボールペンなどをリボンに添えながらリボンカートリッジのつまみを回すと、リボンが下方に送られます。

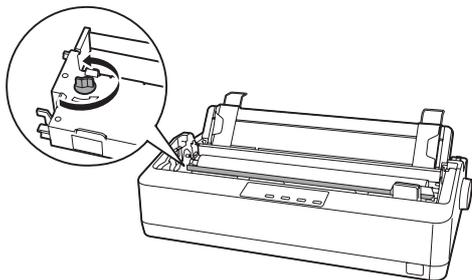


**！注意**

リボンはキャリッジとプリントヘッドの間を通してください。

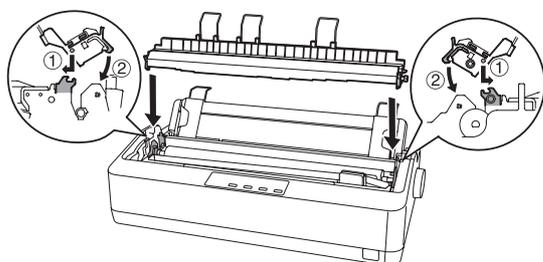


- 9** リボンカートリッジのつまみを再度回して、リボンのたるみを取ります。

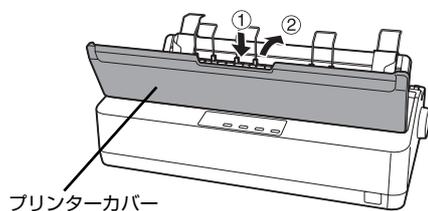


リボンのたるみを取り、リボンが自由に動くこと、リボンにねじれや折れがないことを確認してください。

- 10** 排紙ユニット両側のフックをプリンターに引っ掛け、ユニットの下部を押し込むようにして取り付けます。



- 11** プリンターカバーを取り付けます。



**参考**

使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。  
エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。  
詳細はエプソンのホームページで確認してください。  
<http://www.epson.jp/recycle/>  
使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。  
廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

以上で終了です。

# さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱のソフトウェアディスクに収録されている『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

## PDF マニュアルの紹介と使い方

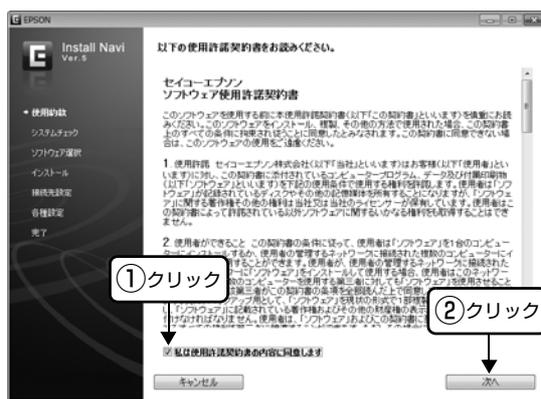
『取扱説明書－詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンターを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- プリンター本体の設定変更に関する情報
- オプション品や消耗品の情報
- 紙詰まりや印刷できないなど、困ったときの対処方法
- プリンター本体の仕様

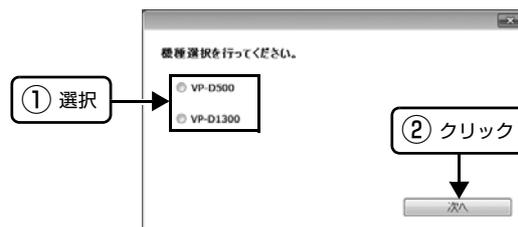
PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

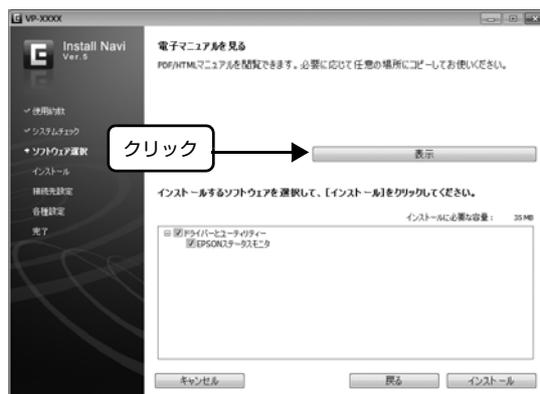
- 1 本製品に同梱されているソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。
- 2 以下の画面が表示されたら、内容を確認し、[私は使用許諾契約書の内容に同意します] をクリックして、[次へ] をクリックします。  
本契約内容に同意されない場合は、[キャンセル] をクリックしてインストールを中止します。



- 3 お使いのプリンター名を選択し、[次へ] をクリックします。



4 [電子マニュアルを見る] の [表示] をクリックします。



5 [VPD50D13.pdf] をダブルクリックして開きます。または、ドラッグアンドドロップなどの機能でお好みのフォルダーへコピーします。



**参考**

PDF ファイルを開くと、画面左側に [しおり] があります。[しおり] の各タイトルをクリックすると、該当ページを直接開くことができます。また、調べたい語句を検索して、直接その掲載箇所へ移動することもできます。画面表示が小さい場合は、表示を拡大してご覧ください。また、すべてのページを印刷したり、必要なページだけを印刷したりしておくと、いつでもすぐに調べることができるので便利です。操作方法の詳細は、PDF 閲覧ソフトウェアの [ヘルプ] をご覧ください。

## 各種サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☞ 本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタードライバーなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	☞ エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されているマニュアルのPDFデータをダウンロードできます。マニュアルを紛失したときなどにご活用ください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください（2016年6月現在）。	☞ 本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☞ 次項「保守サービスのご案内」

\*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱のソフトウェアディスクから簡単に行えます。

## エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万が一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお問い合わせください。

## 保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、まず『取扱説明書－詳細編』(PDF マニュアル)の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

### 保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

### 補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

### 保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（本書裏表紙の一覧表をご覧ください）

## 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細は、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。</li> <li>修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。</li> <li>定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。</li> </ul>	年間一定の保守料金	
	持込保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預りして修理いたします。</li> <li>修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。</li> </ul>	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	有償 (出張料のみ) 修理完了後、その都度お支払いください	有償 (出張料+技術料+部品代) 修理完了後、その都度お支払いください
引取修理（ドア to ドア）		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。</li> <li>お引き取りから修理完了品お届けまでの日数は、最短で3日です。</li> <li>修理代金とは別に引取料金（保証期間内外とも一律）が必要です。</li> </ul>	有償 (引取料金のみ) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	有償 (引取料金 + 修理代金) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
持込 / 送付修理		お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預りして修理いたします。	無償	有償 (基本料+技術料+部品代) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

\*消耗品（リボン、用紙など）は保守対象外です。

## 重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

-メモ-

---



## 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

## 著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

## 電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## 瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

## 電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

## 国際エネルギースタープログラム

本製品は、国際エネルギースタープログラムに適合しております。



## 使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

## ●EPSONのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したEPSONのホームページです。

インターネットでEPSONなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。

**FAQ** <http://www.epson.jp/faq/>

## ●製品に関するご質問・ご相談先(EPSONインフォメーションセンター)

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

**050-3155-8088**

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8581へお問い合わせください。

## ●修理品送付・持ち込み依頼先 \*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のEPSONのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白坂2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 ウイングビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

\*修理について詳しくは、EPSONのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

○上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・鳥取修理センター:0857-77-2202

## ●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

\*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のEPSONのホームページでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。\*梱包は業者が行います。

**050-3155-7150**

○上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

\*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、EPSONのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

## ●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(EPSONサービスコールセンター)

**050-3155-8600**

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

## ●製品の最新ご購入に関するご質問・ご相談先(購入ガイドインフォメーション)

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

**050-3155-8100**

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

## ●ショールーム \*詳細はホームページでもご確認いただけます。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階  
【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

## ●MyEPSON

EPSON製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、EPSONに興味をお持ちの方への会員情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

## ●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びEPSONダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料0120-545-101)でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。  
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各○印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
最新の情報はEPSONのホームページ(<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

**EPSON販売株式会社**

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

**セイコーエプソン株式会社**

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号